

第六次

伊達市
総合計画

平成21年度→平成30年度

2009

平成18年3月、
大滝村との合併により、
新たな一歩を踏み出した伊達市。
平成21年4月には、
向こう10年間のまちづくりの
基本的な方向を示す

「第六次伊達市総合計画」が
スタートしました。

伊達市の将来像を

「自然を育む

未来に向かって挑戦する

人にやさしいまち」とし、

これに向けた取り組みを

進めています。

◎自然を育む

伊達の恵まれた自然環境は、かけがえのない貴重な財産であり、伊達市発展の礎です。この恵まれた自然環境を守り育みながら戦略的に活かしたまちづくりをめざします。

◎未来に向かって挑戦する

伊達開拓の先人たちは、酷寒^{コウカン}原始^{コウゲン}の風土とたたかいながら、今日の発展の基礎を築きました。この進取開拓と一致協力の精神を受け継いで、市民の英知とエネルギーを結集し、市民主体のまちづくりを進めます。

◎人にやさしいまち

まちの将来を築くのは市民一人ひとりであり互いの支えあい^{チカエ}がまちづくりの原点です。やさしい心がかよ^{カヨ}いあう愛のあるまちをめざします。

「自然を育み 未来に向かって挑戦する 人にやさしいまち」をめざして

2018

4つの重点政策で
活力ある地域社会を
めざします。

第六次伊達市総合計画では、自治体経営の視点に立ち、選択と集中により戦略的なまちづくりを推進するため、市民アンケートによる市民意識の分析結果と市としての政策判断により、「食」「教育」「生きがい」「環境」の4つを重点政策と位置づけました。限られた地域資源や人的資源、財源を有効に活用し、活力ある地域社会の実現をめざします。

